

株式会社ジェイコムウエスト
第 10 回（令和 2 年度）放送番組審議会 実施概要

第 10 回の放送番組審議会は、審議委員へ案内した上で書面開催にて実施し、番組に関する意見をいただいた。

■日時：2020 年 12 月 17 日（木）～2021 年 1 月 31 日（日）

※書面開催の為、上記日程

■場所：書面開催のため、開催場所は無し

■審議委員（出席者）

会 長	梶原 義秀（門真地区保護司会 理事）
副 会 長	富永 俊裕（須磨 FRS ネット 事務局長）
委 員	赤崎 弘平（ワークショップ AKA 代表）
	小山 敬子（オフィス KEIKO 代表）
	中川 修一（高槻まつり振興会 会長）
	長友 文子（和歌山大学 教授）
	松田 須英子（伏見大手筋商店街振興組合 理事）

■ 審議番組

今回は、様々なご意見をいただく趣旨から、各審議委員の皆さまに別々のエリアの「つながるニュース」をご覧いただきました。

番組審議委員	番組タイトル	放送日	内容/注目ポイント
赤崎 弘平 審議委員	大阪つながる News	2020/10/9	①もずやんオンライン誕生会 (VTR) ②全国地域安全運動 (トリキリ) ③ピース大阪特別展「引揚港・舞鶴と大阪」 (トリキリ) ④すみ博告知 (Zoom) ⑤まちかど注意報 ⑥台風情報注意喚起
梶原 義秀 審議委員	つながる News ～北河内～	2020/11/10	①城東工科高校の生徒たちと課題解決型授業の発表会 (VTR) ②門真市シルバー人材センター40周年式典 (VTR) ③北河内ユニバーサルマップ (ZOOM) ④ベアーズフェスタ(テロップ) ⑤阪神高速お知らせ (VTR) ⑥新型コロナ関連情報(テロップ)
小山 敬子 審議委員	兵庫つながる News ～神戸芦屋三木～	2020/11/9	①新型コロナ関連情報(テロップ) ②烏帽子中学校で自転車教室(VTR) ③灘高校・中学校ロボットプログラミング教室(VTR) ④きょうは 119 の日 正しい通報の仕方(テロップ) ⑤11月10日は無電柱化の日 芦屋の街が無電柱になったら(テロップ) ⑥灘・夢ナリエ(VTR) ⑦再度コロナ感染数お知らせ
富永 俊裕 審議委員	兵庫つながる News ～神戸芦屋三木～	2020/10/28	①神戸市須磨区「井戸書店」おススメ書籍(VTR) ②道の駅みき イベント情報(テロップ) ③西区の企業がマスクグッズを販売(VTR) ④盆踊り動画募集中(Youtube 動画) ⑤神戸市が3つのコールセンター開設(テロップ) ⑥県警メール紹介「ひょうご防犯ネット」(テロップ)

中川 修一 審議委員	つながる News ～北大阪～	2020/10/8	<ul style="list-style-type: none"> ① 芥川山城で三好長慶祭司祠修理竣工式開催＆御城印・武将印 紹介（高槻市）※どろーかる投稿 ②新型コロナ関連情報(テロップ) ③あま弥生の観月会（高槻市） ④高槻市と大阪地区トヨタ各社が協定締結（高槻市） ○ E N D 河川カメラ
長友 文子 審議委員	つながる News ～りんくう・和歌山～	2020/10/8	<ul style="list-style-type: none"> ① 岩出市長 初登庁 ②つながるうまいもん 10 月ランチ特集「酒場とっちゃん(和歌山市)」 ③特集コラぼ R 連動調査「大阪海上釣り彫サザン」 ④台風注意喚起/台風進路予想図/河川カメラ(紀の川) ⑤台風接近/～事前の備え~/避難経路の事前確認
松田 須英子 審議委員	京都つながる News	2020/11/25	<ul style="list-style-type: none"> ① 花の甲子園全国大会 西京高等学校が優勝 (VTR) ② 日本最大級の現代アートのフェア「Art Collaboration Kyoto」 記者発表会 (VTR) ③ VIVA SQUARE KYOTO「京都芸術大学」×「くまの学校」がコラボ (VTR) ④ 第26回京都伏見少年サッカー大会2020 (VTR) ⑤新型コロナ関連情報(テロップ)

■いただいたご意見・ご感想

【全体的な感想】

- ・ コロナ禍において苦勞して編集しているのが伺え、新型コロナウイルスへの対応が大変行き届いている。また、番組対応にきめの細やかな配慮がなされている。当分の間収束が難しいとされる中、更に視聴者のニーズに応えられるよう努力してほしい。
- ・ 地域密着型の情報で内容も片寄らずに良かった。
- ・ オープニングトークがゆるい。（見ていて楽しくない）
- ・ 8つのカテゴリーによる放送の全体的なバランスは良かった。
- ・ 「つながる News」の取り組み
特に地域の子供たちの活発で生き生きとしたスポーツを放送する等、身近で地域力が伝わり J:COM ならではの映像だと思った。
- ・ 6月から放送開始の局もあるが、神戸が10月開始になった理由は何か。
- ・ 吉村知事の発信も重要だが、基礎自治体の長からの発信が地域との関わりの中ではより重要。市長、町長、村長からの発信に限っても良いのではないか。ローカルから発信する、から一歩進んでローカルをローカルに発信する視点で。
- ・

【特に良かった点】

- ・ 地元でこんなにも子供達がこのコロナ禍でも活発にスポーツしている姿は明るく良いニュースだった。このコロナ禍において明るく前向きになれる話題が多く取り上げられていた点が良かった。
- ・ テイクアウト店の紹介等、コロナ禍において大いに役立つ内容
- ・ 河川情報カメラの放送は地域住民の早期避難行動に重要
- ・ 兵庫県内のコロナ情報関連は知りたい内容なので良かった。
- ・ 地域に住んでいても役に立つ情報や知らなかった情報があり新鮮だった。
- ・ 井戸書店「おススメ書籍」はいい人選であった。
- ・ 三好長慶の芥川城のニュースは地元には朗報だった。映像としてありのままにプログラムを追ってのニュースとしては申し分ないが、芥川城の再調査に至る地元の長年にわたる取り組みの一端を表現してもらいたかった。木を伐り山を開いて城跡を発掘された長年の努力を視聴者に見せる工夫がほしい。NHKでしか出来ないかもしれないが頑張してほしい。
- ・ それぞれの地域に密着した情報を発信しようという姿勢に好感が持てる。
- ・ コロナ禍における番組対応、各自治体の各般情報や各首長の記者会見・メッセージを届ける事はもとより大切。加えて「家ごはん」「健康体操」「教育支援」番組を提供された事はヒットと言っても良い。

【気になった点や改善したほうが良いと感じた点】

- ・ キャスターが芸人というのは、世の流れかもしれないが、親しみやすさを出しているのはわかるがスタジオトークが滑っている。
- ・ 川の映像は映像の見方を解説する必要があると感じる。淀川流域全体の動きの中で川の状態を知らないと間違った情報を捉える事になる。目の前の流水が少なくとも上流のダムは緊急放流が実施されようとしている時など、一概に目の前の映像が正しいとは限らない。
- ・ 女性アナウンサーが目線を下げる回数が多く感じた。
- ・ 「台風の備え」についての場面では、文字だけの説明だったが、絵や写真などビジュアルなものがあればより分かりやすくなる。
- ・ 「断水に備えて食料水などの確保を」という文は「水道が止まるかもしれないので、飲み水を用意しておいて下さい」といった表現ではどうか。
- ・ 二人並んでの場面の背景がまるで壁紙に思えて違和感を感じたのもう少し背景を工夫したほうが良いのでは。
- ・ コロナ禍で仕方がないのかもしれないが、民放同様リモートによる画像が多く、また、解像度が悪かった気がする。
- ・ コロナ情報の判断画面は見にくいし、わかりにくい。一週間の数字の推移はすぐわかるようにグラフにしてはどうか。
- ・ 芦屋の無電柱化への切り替わりについて少し説明をしてはどうか。ただ景観が良くなるだけではなく、「防災面でも役立つ」といったコメントも必要ではないか。
- ・ 「ロボットプログラム教室」は視聴して興味を持った人の為問い合わせ先が必要ではないか。
- ・ 取材を受けた企業や団体の思いや動きは十分に伝わったか。どれも一方通行で少し視聴者へのアピールが不十分なように思った。「井戸書店おススメ書籍」では本を読んで感じた市民の声、「道の駅みき」ではマスクホルダーを制作するきっかけをくれた友人の声など番組編成がもう少し双方向であればより「つながり」を視聴者に伝えられたのではないか。
- ・ 「大阪つながる News」について、ピースおおさかの特別展「引揚」についての紹介の際、いささかの外れな発言あり。歴史について（この場合は「引揚」）は番組制作者、進行役も充分学習、理解して臨むべき。
- ・ 「すみ博」の紹介の際も、番組進行役が内容を充分理解していないのではないかという疑念がある。

【その他ご意見】（コロナ禍で生活に必要な地域情報など）

- ・ 「コロナ禍の中、このような対策、対応をしています」といった（店舗、施設、学校等の）紹介を。
- ・ 外出を控えている高齢者の方々に対して、地域でどのようなコミュニティがあるか等の情報を。
- ・ 一人暮らしの高齢者が孤独感を持たないよう地域でどんな事が行われているか等の情報発信してほしい。
- ・ 小・中・高・大学の教育現場の現状や互いの思い等、現場の方の意見交換を聞いてみたい。

【その他ご意見】（コロナ禍で生活に必要な地域情報など） 続き

- ・ 「豊かな地域を次世代に！」何としても「つなぐ」意識と行動が今必要であり求められていると思う。
- ・ ハンマー&ダンスと言われているが、状況に応じて適切な報道が必要。大手テレビメディアが大きく報道している時は、むしろ逆に地域を落ち着かせるような報道が、J:COM の役割としては向いていると思う。健康支援番組、教育支援番組、近所のお店紹介などは一つの方向だと思う。
- ・ 今、自治体や関連団体などで、災害情報の発信に、外国人・お年寄り・子供にもわかる「やさしい日本語」を使用しようという取り組みが広がっている。阪神淡路大震災をきっかけに生まれた「やさしい日本語」についてはネットに色々情報があるので参考まで。
- ・ 公共施設等、公共性の高い施設の利用時間等の情報を伝えてほしい。（時間変更されている事が多いので）
- ・ 市のホームページ等でも感染者情報等、掲載されているので、コロナ禍における地域情報、市単位の情報をテロップ等で流せないか。クラスター発生等も同様に。
- ・ どの番組もどれくらい視聴者に役立っているのかを知りたいが、特に「家ごはん」「健康体操」「教育支援」番組の成果を知りたい。何かそれを知る方法はあるか。それぞれにつき視聴者からの反応メッセージなどがあれば教示してもらいたい。

【J:COM チャンネルの編成や取り組みに対してご意見ご要望】

- ・ 河川カメラ設置は災害時などで近隣の避難の参考になり、他地域の人も状況がわかるので役に立つと思う。
- ・ コロナ禍の中で、ケーブルテレビの役目が見えたと思う。日頃から地域密着のスタンスでいれば、何かあった時に協力を得やすい。
- ・ J:COM ならではの、より身近なピンポイントの局地詳細情報を今後も発信求む。全国的な情勢や情報は他局でもありすぎるぐらいある。「選択と集中」に軸足を置いていただきたい。
- ・ ジモト応援番組は毎回充実していると思う。ただ、充実してくるとだんだんと番組間の差が見えてくる。高槻では「今年はお家で高槻まつり」という番組が作られ、過去の映像を挟みながら開催できなかった想いを伝える事ができた。
- ・ これからも、地域に密着した「わかりやすく、楽しい」情報発信に期待している。
- ・ エリア毎の 24 時間 L 字放送を基本にした特別編成、通天閣ライトアップ放送、河川カメラの活用等素晴らしいと思った。
- ・ コロナ禍番組放送、社員のリモート勤務等苦勞されていると思うが地元につながる放送のため、頑張ってもらいたい。

これらのいただいたご意見・ご感想を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立ててまいります。

以上